施策評価シート（令和７年度実績）

施策名　４　青少年が健全に成長し、活躍できる地域をつくる

施策コード	010004

１．施策の体系と担当課

第5次総合計画	将来像	1　心豊かな人が育ち　ふるさとに誇りと愛着を感じるまち
主管課	教育部　青少年教育課	
関係課	教育部　社会教育課，教育部　青少年人権教育交流館	

２．施策の目標

10年後の目標

地域の子どもは地域で見守り育てるという意識が高まり、地域団体の多様な連携と自主的な活動が進んでいます。
放課後や休日における子どもたちの居場所があり、そこで友人たちと過ごす子どもたちがコミュニケーション能力を高め、次の世代の指導者として育っています。
青少年が健全に成長することで、若者が地域でいきいきと活躍しています。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

〇青少年健全育成について、家庭・地域・学校・関係機関と連携した啓発活動を推進します。
〇青少年健全育成関係団体の活動を支援するとともに、新たな団体・個人が活動に取り組むよう啓発を行います。
〇地域における青少年育成の指導者やボランティアの人材発掘、育成を行います。
〇悩みを抱える青少年の健全育成のため、家庭・地域・学校の連携を深めます。
〇子どもの居場所づくりと、協調性やコミュニケーション力を高める体験活動を行います。

市民・団体・事業所等の取組み

〇大人としての責任と自覚ある生き方を青少年に示します。
〇青少年健全育成関係団体は、地域における人間関係の構築、規範意識の醸成のための事業を実施します。また、後継者の育成に努め、組織の強化を図ります。
〇地域で活動する各種団体は、青少年を有害環境から保護する活動や、子どもの安全を見守る活動などを通じ、自主的な活動と組織の強化に努めます。

３．施策を取り巻く状況

社会環境や法令等の変化

2020年3月に大阪府青少年健全育成条例が改正され、社会全体で青少年を健やかに育むため、大人に青少年を有害な環境から守る責任が今まで以上に求められるようになり、社会の中での青少年の占める位置と大人の責務が変化している。

新たな市民ニーズ

地域のつながりが希薄化する懸念がある中で、地域で青少年の健全育成に携わる青少年指導員の方々のスキルアップの機会を増やすことで、様々な相談について、今まで以上に適切な対応ができるよう求められている。
講座事業等が、学校も学年も違う子どもたちが交流し、様々な個性をもった子ども同士がお互いを理解し尊重できる場となることが求められている。

４．施策にかかるコスト

			単位	R6予算	R6決算	R7予算	R7決算	R8予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		5.93		6.86	
		会計年度任用職員数			4.52		4.64	
	人件費	直接人件費	千円		58,752		71,783	
		間接人件費			14,589		15,602	
	直接事業費			24,768	22,625	25,054	22,337	26,019
	間接事業費				2,005		2,053	
	フルコスト				97,971		111,775	
財源内訳	使用料及び手数料		千円	73		73		73
	国庫支出金			596	0	613	613	623
	府支出金			1,090	914	1,155	895	1,167
	市債							
	その他			1,641	1,283	912	613	2,481
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）				95,774		109,654	
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）			21,368	20,428	22,301	20,216	21,675

備考

５．施策の成果指標

成果指標1		講座・イベント参加者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人	毎年度	72,000	維持	76,563	72,433	72,000	72,000
成果指標2							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

６．施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和7年度実績）

事務事業名	最重要指標	事業費 人件費 令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(見込)	方向性		所見
放課後子ども教室推進事業 （社教）	放課後子ども教室の参加人数（子ども・大人の合計） R7実績 16,857 人 最終目標値に対する達成率 －	2,071	2,105	1,914	3,102	成果	Ｂ：現状維持	放課後の子どもの居場所が重要視され、多様な場が新たに生まれる中、学校内にある貴重な居場所として、継続できるよう取り組む。
		3,922	3,349	4,887	0	資源配分	Ｂ：現状維持	
青少年センター講座開催事業 （青教）	講座参加人数 R7実績 5,944 人 最終目標値に対する達成率 74.3%	2,494	3,858	3,746	4,125	成果	Ａ：向上を図る	少子化により子どもの数は減少傾向にあるが、講座の内容を工夫し、参加者の増加に努める。
		9,094	11,785	14,408	0	資源配分	Ｂ：現状維持	
青少年指導員連絡協議会事業 （青教）	会議・パトロール等への青少年指導員参加率 R7実績 0 % 最終目標値に対する達成率 －	904	880	819	892	成果	Ｂ：現状維持	祭礼等の街頭指導啓発や社会を明るくする運動など、今後も継続して活動できるよう努める。
		3,499	3,834	4,205	0	資源配分	Ｂ：現状維持	
こども会育成会育成事業 （青教）	行事総参加人数 R7実績 311 人 最終目標値に対する達成率 31.1%	389	389	389	428	成果	Ａ：向上を図る	市こ連に参加する子ども会は減少傾向があるが、今後も子どもが興味を引ける活動を行い、活動の維持に努める。
		4,489	4,074	3,528	0	資源配分	Ｂ：現状維持	
青少年野外広場維持管理事業 （青教）	こども広場利用人数 R7実績 11,469 人 最終目標値に対する達成率 76.4%	302	403	1,493	639	成果	簡易評価	
		2,504	3,144	2,868	0	資源配分		
はたちの集い開催事業 （青教）	はたちのつどい参加率 R7実績 87 % 最終目標値に対する達成率 102.3%	1,206	1,311	1,310	1,295	成果	Ａ：向上を図る	今後も実行員会形式で手作りで魅力のある「はたちの集い」を継続していく。
		5,078	4,505	5,069	0	資源配分	Ｂ：現状維持	
少年の主張大会開催事業 （青教）	少年の主張来場者数 R7実績 220 人 最終目標値に対する達成率 73.3%	207	225	247	290	成果	Ａ：向上を図る	小学生の目標となるよう、市内11小学校代表の発表による少年の主張大会を継続するとともに、主張内容が市政に反映されるよう、庁内に呼びかける。
		3,368	3,494	2,398	0	資源配分	Ｂ：現状維持	
吹奏楽団育成事業 （青教）	定期演奏会入場者数 R7実績 750 人 最終目標値に対する達成率 88.2%	1,277	1,248	1,273	1,290	成果	Ｂ：現状維持	SNS等を積極的に活用し、楽団の活動を知ってもらい、また、演奏を多くの方に聞いてもらえるよう努めていく。
		1,707	1,398	1,530	0	資源配分	Ｂ：現状維持	

青少年健全育成補助事業 （青教）	スカウトのべ活動参加者数 R7実績 109 人 最終目標値に対する達成率 72.6%	45	45	45	45	成果	簡易評価	
		1,130	883	1,328	0	資源配分		
青少年国際交流事業 （青教）	カルバーシティ市とのメール送受信回数 R7実績 75 回 最終目標値に対する達成率 －	0	3,656	1,860	3,998	成果	A：向上を図る	隔年でカルバーシティと交流を実施しており、日本に迎えた場合には、高校生に日本や貝塚の文化を伝え交流を深めるよう努めていく。
		868	3,076	3,865	0	資源配分	B：現状維持	
高校生海外留学支援事業 （青教）	留学支援金申請者数 R7実績 10 人 最終目標値に対する達成率 －	800	500	401	0	成果	簡易評価	
		2,420	1,320	1,396	0	資源配分		
青少年人権教育交流館運営事業 （青人）	館利用者数 R7実績 23,899 人 最終目標値に対する達成率 59.7%	2,623	2,909	3,033	3,312	成果	B：現状維持	三館合築により、施設の使用最終年度となることから、これまでの歴史を振り返るイベントを実施する。
		3,489	4,331	5,980	0	資源配分	B：現状維持	
低学年育成事業 （青人）	日常活動参加延べ人数 R7実績 6,924 人 最終目標値に対する達成率 49.1%	2,798	3,006	3,155	3,560	成果	B：現状維持	社会性や協調性、コミュニケーション力を持った子供の育成に努める。
		12,172	13,181	18,355	0	資源配分	B：現状維持	
講座・行事等開催事業 （青人）	講座・行事参加延べ人数 R7実績 2,676 人 最終目標値に対する達成率 53.5%	1,262	1,197	1,304	1,695	成果	A：向上を図る	講座等については参加しやすい日時や内容にするなど工夫する事業内容を工夫し、利用者の増加に努める。
		4,592	5,579	6,054	0	資源配分	B：現状維持	
人権啓発・交流事業 （青人）	事業総参加人数 R7実績 1,564 人 最終目標値に対する達成率 62.6%	0	0	0	0	成果	A：向上を図る	施設見学の受け入れやあそびの出前講座等、様々な媒体を通じて人権教育事業の啓発と情報発信に努める。
		3,537	3,715	4,735	0	資源配分	B：現状維持	
青少年育成支援事業 （青人）	青少年育成支援事業利用人数（延数） R7実績 890 人 最終目標値に対する達成率 74.2%	868	893	1,348	1,348	成果	B：現状維持	教育や進路選択支援相談を実施してくとともに、児童図書の貸し出しや子育てセミナーの充実を図る。
		5,230	5,673	6,779	0	資源配分	B：現状維持	

７．施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	子どもの数は減少傾向にはあるが、事業について概ね達成できている。
構成事務事業に課題はないか	青少年人権教育交流館事業については、三館合築に向けて、新たな交流事業を検討する。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	三館合築により、新たな公民連携事業を検討する。

８．今後の方向性	
担当部長の所見	令和9年度のひと・ふれあい館開館に向け、新たな交流事業及び公民連携事業を徐々に始めていく予定である。その中で、青少年を含む新たな子どもの居場所を企画したい。 また、カルバシティ市との交流事業や海外留学支援事業を継続し、若者が世界に活動の場を広げるきっかけをつくる。
担当副市長の意見	地域の子どもは地域で見守り育てるという意識をさらに醸成し、地域団体の多様な連携と自主的な活動が進むよう行政としても支援する必要がある、その中で令和9年度のひと・ふれあい館開館は大きな転機であり、新たな交流事業や子どもの居場所づくりを進めてまいりたい。